

令和4年度
事業報告書

学校法人栗岡学園

I. 法人の概要

(1) 法人の所在地学校法人栗岡学園

〒575-0013 大阪府四條畷市田原台 6 丁目 1 番 1 号

TEL/0743-74-9114 FAX/0743-74-9180

(2) 教育理念

学校法人栗岡学園は、戦後昭和 21 年に大阪市東成区にクラウン洋裁学院を開校して以来、今日まで一貫して『社会に貢献し得る人材の育成』を理念として、時代のニーズに即した多くの学校を設立してきた。

今日の社会は、少子高齢化が急速に進み、また非常に複雑化・多様化・高度情報化しており、様々な問題が生じている。しかし、これらを解決するのは、いつの世でも『人』である。私たちはこのことを深く認識し、豊かな人間性を備えた良識のある『人財』をこれからも世に送り出していく決意である。

(3) 法人の沿革

1946 年 10 月（昭和 21 年）クラウン洋裁学院開校

1948 年 1 月（昭和 23 年）財団法人栗岡学園設立

1950 年 4 月（昭和 25 年）聖美幼稚園開園

1951 年 3 月（昭和 26 年）私立学校法制定により、財団法人を学校法人に変更

1980 年 4 月（昭和 55 年）阪奈中央看護学校（准看護師養成課程）開校

1983 年 3 月（昭和 58 年）クラウン・ドレスメーカー女学院（旧称：クラウン洋裁学院）閉校

1992 年 4 月（平成 4 年）四条畷看護専門学校（看護師 2 年課程）開校

1995 年 4 月（平成 7 年）阪奈中央リハビリテーション専門学校（理学療法学科）開校

1995 年 4 月（平成 7 年）阪奈中央リハビリテーション専門学校（作業療法学科）増設

2000 年 4 月（平成 12 年）奈良リハビリテーション専門学校（理学療法学科）開校

2003 年 4 月（平成 15 年）阪奈中央看護学校に看護学科（看護師 3 年課程）を増設し、
阪奈中央看護専門学校に名称変更

2008 年 4 月（平成 20 年）阪奈中央こぐま園を医療法人和幸会より移譲し開園

2013 年 4 月（平成 25 年）生駒市の委託を受け阪奈中央病児保育園を阪奈中央こぐま園に併設

2016 年 4 月（平成 28 年）阪奈中央こぐま園の 0・1・2 歳児を認定こども園
（地域型小規模保育事業所内保育）

2017 年 4 月（平成 29 年）阪奈中央リハビリテーション専門学校に文化教養学科日本語科併設

(4) 設置する学校(園)及び学科

①聖美幼稚園（2・3・4 年未満保育）

所在地〒537-0013 大阪府大阪市東成区大今里南 2 丁目 13 番 22 号

TEL06-6981-8438

○付帯事業園内保育所（1.2 歳児を対象とした認可外保育施設・定員 22 名）

②阪奈中央看護専門学校（看護師 3 年課程・准看護師課程）

所在地〒630-0243 奈良県生駒市俵口町 450 番地

TEL0743-74-9058

③四条畷看護専門学校（看護師 2 年課程）

所在地〒575-0013 大阪府四條畷市田原台 6 丁目 1 番 1 号

TEL0743-78-9114

④阪奈中央リハビリテーション専門学校（理学療法学科・作業療法学科・日本語科）

所在地〒575-0013 大阪府四條畷市田原台 6 丁目 4 番 43 号

TEL0743-78-8711

⑤奈良リハビリテーション専門学校（理学療法学科）

所在地〒630-0213 奈良県生駒市東生駒 1 丁目 77 番 3 号

TEL0743-73-9861

⑥阪奈中央こぐま園（0・1・2 歳児:地域型小規模保育事業所内保育・3・4・5 歳児:認可外保育）

所在地〒630-0243 奈良県生駒市俵口町 471 番地

TEL0743-74-0800

⑦阪奈中央病児保育園（生駒市委託事業）

所在地〒630-0243 奈良県生駒市俵口町 471 番地

TEL0743-74-0800

（4）学生・園児数の状況（令和 4 年 5 月 1 日現在）

【単位：名】

学校名	学科名	定員数	現員数	備考
阪奈中央看護専門学校	看護学科	120	119	
	准看護科	80	82	
四条畷看護専門学校	看護学科	80	81	
阪奈中央リハビリテーション専門学校	理学療法学科	120	90	
	作業療法学科	120	53	
	日本語科	100	19	
奈良リハビリテーション専門学校	理学療法学科	120	95	
聖美幼稚園	幼稚園	400	276	
	園内保育所	24	22	
阪奈中央こぐま園	0 歳～5 歳児保育	114	89	
阪奈中央病児保育園	生駒市委託事業	6	-	
	合計	1284	926	

(5) 役員・教職員の概要

①役員（令和4年5月1日現在）

区分	氏名	区分	氏名	区分	氏名
理事長	栗岡良幸	評議員	栗岡良幸	評議員	新門正広
理事	栗岡隆顕	評議員	栗岡博良	評議員	林康樹
理事	山村綾子	評議員	中川三郎	評議員	田中尚人
理事	新門正広	評議員	陰山克	評議員	酒井真紀
理事	藤岡幹雄	評議員	山村綾子	評議員	下村奈奈枝
理事	林康樹	評議員	栗岡隆顕	定員数： 理事6名、監事2名 評議員13名以上	
監事	九折洋志夫	評議員	藤岡幹雄		
監事	岡崎仁亮	評議員	太田むつ子		

②教職員数（令和4年5月1日現在）

【単位：名】

学校名	教員		職員		合計		備考
	専任	兼任	専任	兼任	専任	兼任	
阪奈中央看護専門学校	17	71	2	0	19	71	
四条畷看護専門学校	8	44	2	0	10	44	
阪奈中央リハビリテーション専門学校	15	107	7	0	22	107	
奈良リハビリテーション専門学校	7	32	2	0	9	32	
聖美幼稚園	28	2	10	7	38	9	
阪奈中央こぐま園	14	0	1	0	15	0	
阪奈中央病児保育園	1	1	0	0	1	1	
合計	90	257	24	7	113	264	

II. 事業の概要

(1) 令和4年度の概況

【専門学校部門】

令和4年度も和幸会グループの特色を活かし、現場で活躍する第一線の講師陣による実践的な教育を中心に専門学校ならではのきめ細やかな教育を行った。また、学生個々の能力間格差が広がっている状況を踏まえ、グループ学習や国家試験対策など、これまで以上に個々の学生に寄り添った教育を行い、現場で活躍する人材養成を目標日々努力している。

【就学前教育部門】

聖美幼稚園、阪奈中央こぐま園共に「誠実」・「明朗」・「意志」を教育理念とし、汚れのない美しい心を育むことを目標に、制作や日本文化など豊富なプログラムにより親しみ愛する心の育成に努めている。

聖美幼稚園には園内保育所もあり、幼稚園と連携した「幼・保一元化」に取り組み、働く保護者を支援している。また、阪奈中央こぐま園には生駒市委託事業である病児保育園を併設し、仕事で休むことができない保護者のサポートをより一層強化していけるように努めている。

(2) 学生・園児募集

リハビリ専門学校の2022年度の学生募集は、昨年同様苦戦しており入学定員数を割ることとなった。大学が年内入試に力を入れ始めたことや18歳人口の減少が大きな理由と考えられる。阪奈中央看護専門学校については定員は確保しているものの、18歳人口の減少により受験者は減少傾向にある。四条畷看護専門学校においても定員は維持しているが、相次ぐ准看護校の閉校に伴い、受験生が減ってきている現状である。また各校とも受験者数の減少に伴い、受験生の学力低下が大きな課題となっている。

一方、各校で稼働している学生募集管理システムが機能しており、きめ細かな募集者フォローが可能となっている。令和4年度もコロナ禍によりオープンキャンパス開催にも制限があったが、徐々に感染状況が終息してくるにつれて従来のオープンキャンパスに加え、法人合同で夜間説明会を開催するなど、様々な形での学生募集に努めた。

聖美幼稚園・阪奈中央こぐま園については、安定した園児数を確保できてはいるが、地域との連携を密に図ることでより安定した園児数確保を目指す。

(3) 国家試験対策

2022年度の看護・医療系の国家試験及び資格試験の合格率は下表の通りである。

阪奈中央看護専門学校准看護科では、昨年に引き続き合格率100%を達成した（准看護科は12年連続合格率100%）。四条畷看護専門学校も合格率100%を達成した。

対策としては、グループごとで自らが課題を見つけ、解答の丸暗記ではなく、内容理解を深めるような取り組みを行わせたり、模擬試験等の結果分析から個々の弱点を補う指導をしている。近年は学力格差が拡がりを見せているため、より個々の能力に応じた個別指導が必要になるとと思われる。

資格名	学校名	受験者	合格者	合格率	全国平均
看護師	阪奈中央看護専門学校	38	34	89.5%	90.8%
	四条畷看護専門学校	40	40	100%	
理学療法士	阪奈中央リハビリテーション専門学校	25	23	92.0%	87.4%
	奈良リハビリテーション専門学校	20	18	90.0%	
作業療法士	阪奈中央リハビリテーション専門学校	15	10	66.7%	83.8%
准看護師	阪奈中央看護専門学校	38	38	100%	98.3%

※2023年3月卒業者の受験状況を示す。准看護師全国平均は関西広域連合の数値による。

(4) 就職

2022年度の看護・リハビリ校の就職希望者の就職内定率は今年度も100%の結果となった。中には国家試験の合格発表後に就職活動をした卒業生もいたが、概ね第3志望までに全員が就職している。各科の担当教員が就職についての的確なアドバイスをし、ミスマッチが起きないように指導している。

看護校では入学前から、病院・施設より奨学金を借りる者も少なくなく、卒業後には返済すべくその病院・施設に就職するケースが多い。

(5) 専門実践教育訓練給付制度厚生労働大臣指定講座の認定について

この制度は、要件を満たす学生が認定を受けた講座を受講することにより、学費の一部が公共職業安定所から支給される。この指定講座に四条畷看護専門学校（看護学科）と阪奈中央看護専門学校（看護学科）が認定されている。

(6) 地域との連携

地域の方々へのグラウンドの開放のほか、あいさつ運動やクリーン作戦など、地域行事にも可能な限り参加し、地域の方々にも認知と理解を深めてもらうよう努めた。阪奈中央リハビリテーション専門学校では地域住民にも呼びかけ、学校祭を開催した。

(7) その他

阪奈中央看護専門学校では、令和4年度のカリキュラム改正により、新カリキュラムにより新カリキュラムがスタートした。

Ⅲ. 施設の状況（令和4年5月1日現在）

○現有施設の校地と校舎の面積（単位：㎡）

学校名	校地面積	校舎面積
阪奈中央看護専門学校	5,716	3,040
四条畷看護専門学校	15,839	2,486
阪奈中央リハビリテーション専門学校	92,953	15,689
奈良リハビリテーション専門学校	7,972	2,630
聖美幼稚園	11,981	2,913
阪奈中央こぐま園	—	1,260

IV. 財務の概要

① 貸借対照表の状況

令和4年度総資産額 8,980 百万円（前年比+2%）、総負債額 4,968 百万円（前年比△3%）となった。

② 収支計算書の概要

本年度の総事業費 11 億 5 千 9 百万円（前年比+1%）、総事業収入 10 億 1 千 8 百万円（前年比△2%）収支差額マイナス 1 億 1 千 3 百万円となった。

幼稚園は一昨年に大規模な改修工事が完了したが、各専門学校の建物や機器備品の修繕等が必要な年数になっている為、今後計画をたてて改修工事等を行う必要がある。

また、近年少子化の影響もあり全校（園）とも学生（園児）数が減少している。と同時に収入が減少しており3期連続のマイナスとなった。経費の見直しを行いながら、学生（園児）の確保の為に経費を有効に使用し学生（園児）を確保し学校運営を行っていきたい。